

中越地震からの教訓

平成 20 年 1 月 27 日
中越市民防災安全士
青葉台 3 丁目自主防災会
委員長 畔上 純一郎

平成 16 年 10 月 23 日（土）午後 5 時 56 分、新潟県中越地方でマグニチュード（M）6.8 の大規模地震発生。
川口町で最大震度 7 を観測。この地震で長岡市、小千谷市、川口町、旧山古志村等の中山間地では大きな被害を受けました。

「中越地震の被害内容（新潟県発表）」

人的被害（人） *死者 68 *重傷者 632 *軽傷者 4,163
住宅被害（世帯数） *全壊 3,138 *大規模半壊 2,152
*半壊 11,934 *一部損壊 112,078
*被災による仮設住宅入居（ピーク時） 2,935 世帯 9,649 人

この地震被害に対し日本国内はもとより、世界各国から物心、両面の激ましと日夜を問わない復旧作業により昨年末（H19 年 12 月末）、最後の仮設住宅入居者が退出する事が出来ました。

今回の中越地震の被災地が 3 年間と大変に短い期間で復旧、復興に向けて歩きだす事が出来ました。被災の当事者の努力や頑張りは勿論ですが、全国の皆様からの励まし、国や県、市当局の関係機関及び民間機関、ボランティア等多くの関係者からのご支援、ご協力を頂いたお陰と感謝しています。

本当にありがとうございました。

私達の中越地震体験をお話しする事で、皆さまの地域防災活動の参考にして頂けたら幸いです。

発表内容

1. 中越地震前の防災会活動（赤旗と要援護者リスト）
2. 中越地震の被害概要
3. 震災時の防災活動と問題
4. 中越地震から学んだ事（問題の改善内容）
5. 今後の防災活動課題